

「人見少華展～南画を極めた文人画家～」正誤表

ページ等	正	誤
P. 1 はじめに 9行目	《日盛り》	《日盛》
P. 4 本文 19行目	《日盛り》	《日盛》
P.72 2- 9 解説文24行目	逃げ出していまい、	逃げ出していまい、
P.72 2-13 解説文3行目	漢詩の後半部分には、	漢詩の後半分には、
P.72 2-14 解説文9行目	右幅に描かれる老松	左幅に描かれる老松
P.72 2-15 解説文1～2行目	樹齢を保つといわれることから	樹齢を保つといわれことから
P.72 2-15 解説文4行目	地面から芽を出し数年たった若松で、	地面から目を出し数年たった若松で、
P.73 2-19 解説文6行目	萬葉植物園で藤を写生したとも考えられる。	万葉植物園で藤を写生とも考えられる。
P.73 2-26 解説文1行目	いくつかの系統がある。	いくつかの系統の諸本ある。
P.73 2-26 解説文2～3行目	画面上部には、	画幅左には、
P.74 2-37 解説文5行目	七猿和歌は、	七猿歌は、
P.74 3- 1 解説文1～2行目	奈良帝室博物館(現：奈良国立博物館)	奈良帝室博物館(現：奈良国立博物館当)
P.75 3-18 解説文1～2行目	光明無量にして十方の国を照らす	照光明無量にして十方の国を照らす
P.77 5- 1 解説文1～2行目	収められる画である。	納められる画である。
P.79 1914年(項目2)	第8回文部省展覧会で《日盛り》が入選する。	第8回文部省展覧会で《日盛》が入選する。
P.80 協力機関及び協力者	今西進齊	今西進斎